

東京都都市緑化基金 40 周年事業

東京都都市緑化基金賞 贈呈式

受賞事業紹介ブック



主 催 東京都公園協会 東京都都市緑化基金



東京都 都市緑化基金



東京都都市緑化基金賞 受賞一覧



【街かど緑化部門】

最優秀部門賞	Edible KAYABAEN
優 秀 賞	学校法人東京内野学園 東京ゆりかご幼稚園
入 賞	貸菜園アグリス成城
入 賞	ガーデントラム山下

【花壇・庭づくり部門】

最優秀部門賞	多摩第一小学校 環境委員会+いちはな花壇プロジェクト
優 秀 賞	多摩市立多摩中学校
優 秀 賞	新宿区立柏木小学校(柏木小学校野菜の森プロジェクト)
入 賞	目黒区中目黒公園 さーくる・ガーデン・クラブ
入 賞	しずくの庭花壇整備活動
入 賞	すぎなみ公園育て組 アーリーバード美々の会
入 賞	フロントガーデン 緑の庭造り(パーク・ハイム狹江)
入 賞	南町コミセン交差点緑化活動
入 賞	美しい道づくり活動
入 賞	豊洲シーサイドガーデン

【まちなか緑化士部門】

最優秀部門賞	東京藝術大学 藝大の森プロジェクト「藝大ヘッジ」
優 秀 賞	ちっちゃい辻堂
優 秀 賞	みどりネットKoto(江東区コミュニティガーデン活動支援)
入 賞	実りある暮らしの街~新農住コミュニティ野火止台~
入 賞	花音の森
入 賞	香里団地D51棟 デゴイチプロジェクト





東京都都市緑化基金賞 【街かど緑化部門】

✧ 最優秀賞 ✧



団体名	平和不動産株式会社
事業名	Edible KAYABAEN
活動場所	東京都中央区日本橋茅場町
助成年度	2022年度
活動継続年数	4年間
緑化面積	120㎡
活動人数	3,000名



日本橋茅場町 東京証券会館ビル屋上Edible KAYABAEN全景



バグハウス

養蜂

食と農・子どもたちの自然学校

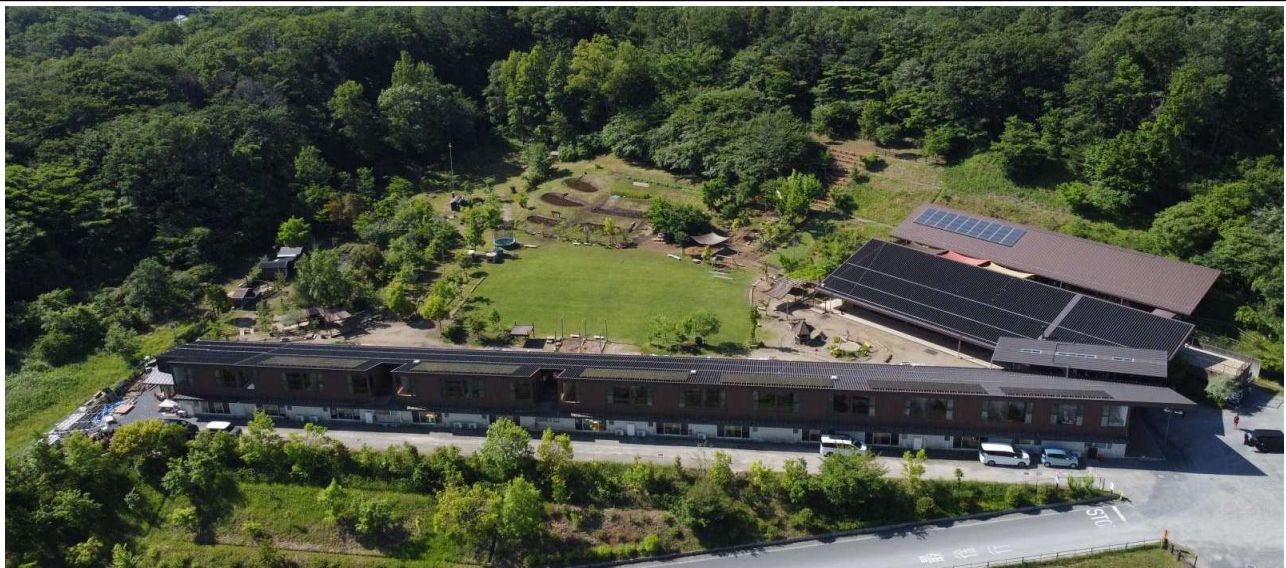
概要

Edible（食べられる）KAYABA（茅場町）EN（えん：円・縁・宴・園）の思いを込めた屋上菜園。都市の中心部でも「育てる・食べる」を中心に人々が本物のコミュニティを築き、子どもたちが生きる力を育む場を創出。ビルから出る生ごみや日射、荷重制限などの条件をクリアしながら、多層的な植栽と小さな生態系を創出し、子どもたちにとっての自然体験の場として、複数の企業協賛を経ながら、広がる「食べられる森」へ成長し続けている。

東京都都市緑化基金賞 【街かど緑化部門】

✧ 優秀賞 ✧

団体名	学校法人東京内野学園 東京ゆりかご幼稚園
事業名	ゆりかごネイチャーセンター計画
活動場所	東京都八王子市七国
助成年度	2012年度
活動継続年数	13年間
緑化面積	22,000㎡（敷地面積）
活動人数	250名



東京ゆりかご幼稚園 全景



「みんなの棚田」からの景色



自然を学ぶ様子



ムササビ
（園庭「森のひろば」に設置した巣箱に棲息！）

概要

「ありのままの自然」を維持しながら、自然と人が持続可能な関係性を図れるよう「園庭里山化」をコンセプトに、山や小川、棚田などを中心とした園庭環境を創出。園庭や隣接の森、ビオトープ等に棲息する生き物たちとの触れあいを通して、園児の「主体的、対話的で深い学び」を促すカリキュラムを実施。2018年にはユネスコスクールに認定され、今後は「持続可能な社会の作り手」を育むため、幼児教育の質向上に取り組んでいる。

東京都都市緑化基金賞 【街かど緑化部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	株式会社ランドフローラ
事業名	貸菜園アグリス成城
活動場所	東京都世田谷区成城
助成年度	2006年度
活動継続年数	19年間
緑化面積	5,000㎡
活動人数	1,000名



貸菜園 野菜栽培の様子



貸菜園の様子



併設されているクラブハウスで
収穫したものを調理



子供向け農業体験講座など、
都心で土や緑とふれあう機会を提供

概要

小田急線の線路上に作られた都市型菜園で、野菜畑と花壇が一体となり四季折々の果実や花が一望できる。収穫した野菜は調理して食べることもでき、環境への理解を深めながら地域交流ができる場として提供。

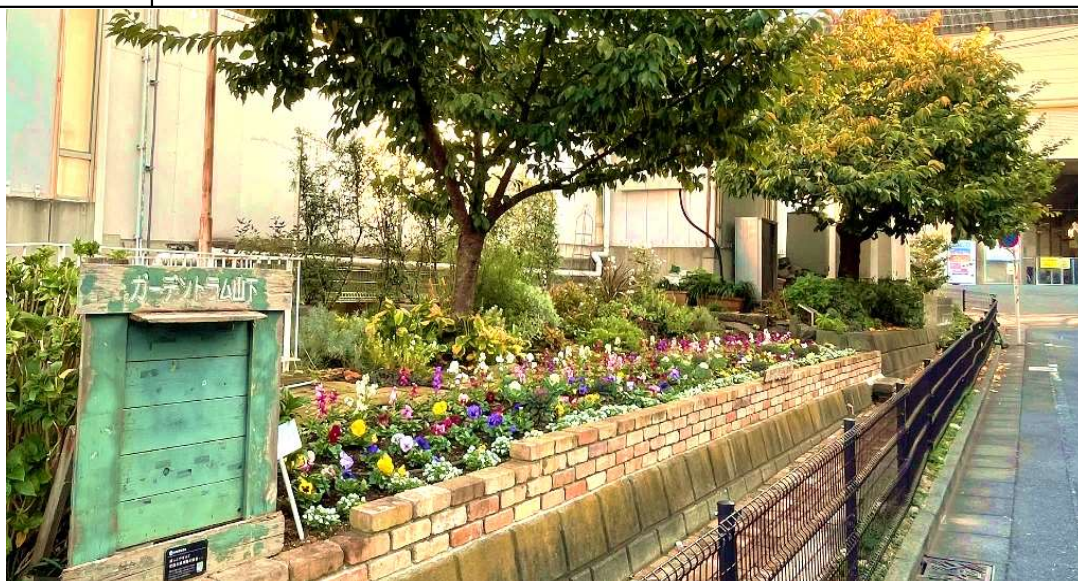
また、コンポストでの堆肥作りや、菜園の環境は昆虫や小鳥たちの居場所にもなっており、「小さな自然の循環」を創出している。

都市に緑を増やし、環境改善・生き物にやさしい空間づくり・地域交流を同時に実現する緑化拠点として活動している。

東京都都市緑化基金賞 【街かど緑化部門】

☆ 入賞 ☆

団体名	NPO法人まちこらぼ
事業名	ガーデントラム山下
活動場所	東京都世田谷区豪徳寺
助成年度	2008年度
活動継続年数	18年間
緑化面積	85㎡
活動人数	15名



ガーデントラム山下 花壇全景



春の花壇の様子



玉電100周年植樹プレート



植え替えの様子

概要	2007年、玉電（現・世田谷線）100周年を記念して山下駅西側に桜を植樹したのをきっかけに、花壇の造成と活動をスタート。 当初は東急電鉄の枕木を活用した花壇だったが、経年劣化に伴いレンガにリニューアル。現在では歴史を要所に感じながらもトレンドを抑えた「山下のイングリッシュガーデン」をコンセプトに、地元の保育園や大学生、地域の方々と協力しながら、植樹した河津桜をはじめ四季折々の花が駅を彩っている。
----	---



東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】



✧ 最優秀賞 ✧



団体名	多摩第一小学校 花壇ボランティア「いちはな」
事業名	環境委員会＋いちはな花壇プロジェクト
活動場所	東京都多摩市関戸
助成年度	2023年度～2025年度
活動継続年数	7年間
緑化面積	100㎡
活動人数	12名



正門花壇の様子



西側花壇（接道部）のパース図

（コンセプトは、多摩川の環境を活かした他にはないナチュラルガーデン！）



西側花壇の様子

概要

心を育む花壇をコンセプトに、PTAの有志が集まり活動。種から育てた苗や挿し芽を活用し、子どもたちと共に植栽・手入れを行っている。

校内の花壇は子どもたちが五感で楽しめる植栽を、接道部には宿根草をメインに地元の方々の癒しとなりながらも大雨による土壌流出を防ぐ役割を果たす植栽など、設置場所によってテーマを分けている。

開花時期や草丈を考慮した高低差のあるデザイン、そして常緑低木を植えることで年間を通して景観が安定するよう構成されている。

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 優秀賞 ✧

団体名	多摩市立多摩中学校・地域学校協働本部
事業名	多摩市立多摩中学校
活動場所	東京都多摩市関戸
助成年度	2021年度～2023年度
活動継続年数	15年間
緑化面積	200㎡
活動人数	450名



蜜源植物の秋の花壇の様子



花壇ボランティア活動の様子



リヤカーを利用した季節の寄せ植え



蜂の採蜜の様子

概要

地域学校協働本部は2011年より校内環境整備を進め、緑と花のある環境づくりに取り組んできた。
現在は「ハニープロジェクト」と連携し蜜源植物の栽培を推進。
授業支援では華道用の花材や芋煮会の野菜も育てている。
活動は環境整備から教育支援、地域交流へ広がり、PTAとも協力して花壇ボランティアを行い、SDGsに寄与する花作り・畑作りを継続している。

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 優秀賞 ✧

団体名	新宿区立柏木小学校
事業名	柏木小学校野菜の森プロジェクト
活動場所	東京都新宿区北新宿
助成年度	2024年度～2025年度
活動継続年数	6年間
緑化面積	1,000㎡
活動人数	50名



子どもたちがつくる屋上の畑



夏の畑の様子



収穫風景（日経BPの記事より）

概要

新宿の小学校屋上1,000㎡に畑を整備して6年。シートと土嚢で一から畑を造成し、年間約20種の野菜や果樹を栽培。約40名の児童が失敗と成功を経験しながら年間を通して農作業に取り組む。収穫物は販売や地域提供に活用され、メディア取材も多数。関わった人は500名超に広がり、都会に“生産”の価値を生み出している。

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	さーくる・ガーデン・クラブ
事業名	中目黒公園内各花壇を自然に優しい循環園芸で守り育てる活動
活動場所	東京都目黒区中目黒
助成年度	2015年度～2017年度
活動継続年数	24年間
緑化面積	22,000㎡
活動人数	50名



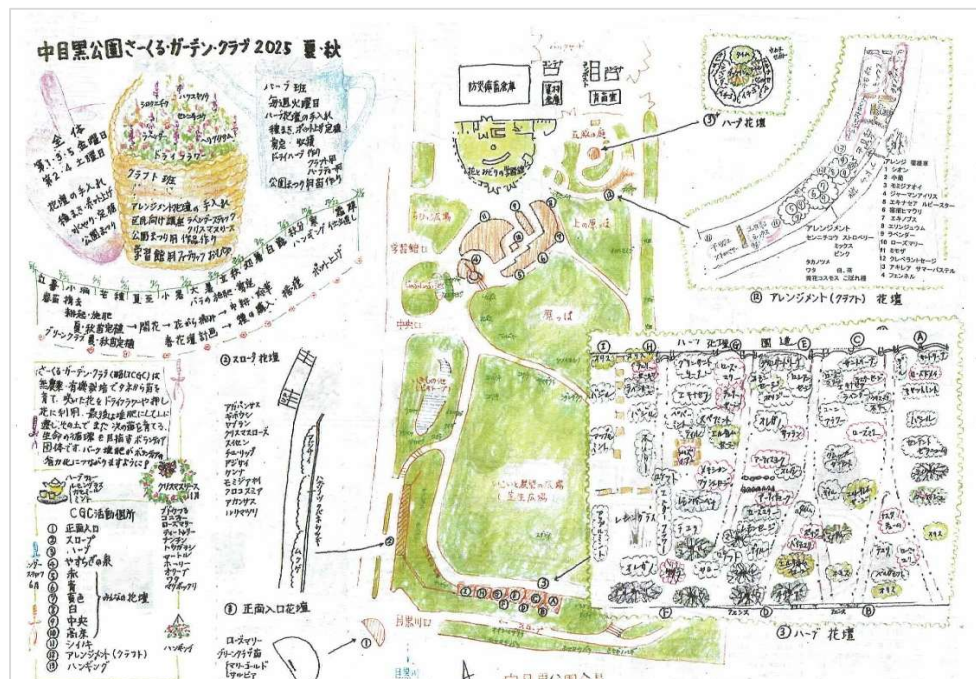
中央花壇の土壌改造



春の中央花壇の様子



ドライフラワー細工



花壇作りの計画

概要

さーくる・ガーデン・クラブは、中目黒公園と学習館を拠点に、公園内の花壇の育成・維持管理を行う団体である。

中目黒公園は2002年に誕生し、地域の緑地確保や防災機能向上を目的に住民参加型の運営方針が整えられた。

園内では子どもから来園者まで幅広く利用され、有機栽培や昆虫育成などの団体と協力しながら、公園の環境保全と地域交流を支えている。

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	アーリーバード美々の会
事業名	すぎなみ公園育て組
活動場所	東京都杉並区永福
助成年度	2022年度～2024年度
活動継続年数	6年間
緑化面積	200㎡
活動人数	10名
 ハーブガーデンの様子	
 スズランガーデン   作業風景	
概要	永福中央公園では、花が少なく寂しかった花壇に、廃棄予定だった草花を植えたことから活動が始まり、近隣住民や植物好きが集まり現在の形となった。助成を受け多くの草花を育て、コロナ下には小さな植物園のように地域の憩いの場となる花壇へ成長。 今ではレンゲ復活など意見交換も活発で、花壇は地域とメンバー双方の生きがいとなっている。

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	パーク・ハイム狛江 緑の番人
事業名	フロントガーデン 緑の庭造り
活動場所	東京都狛江市東和泉
助成年度	2024年度～2025年度
活動継続年数	16年間
緑化面積	550㎡
活動人数	7名



西花壇と芝生エリア



採取した種を配布



半日陰エリア（スズラン）



腐葉土作り

（ユキヤナギで囲われたスペースを利用）

概要

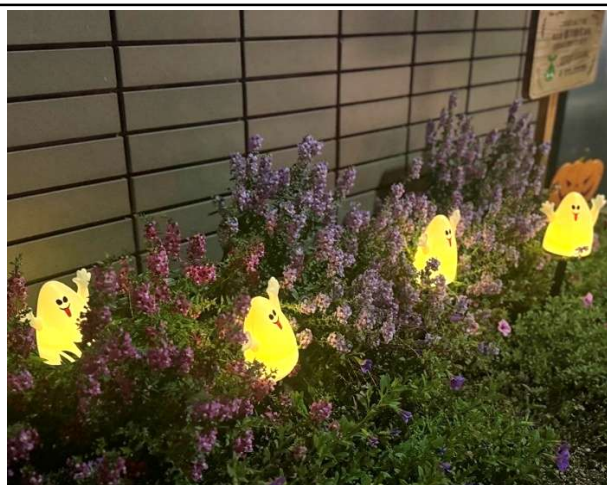
マンション敷地内の空き地を住民ボランティアが庭として整備し、管理している。外部にも開放され、緑道の整備以降は通行者が増え、桜の季節には撮影や休憩の場として親しまれている。

約550㎡の庭には多様な植物があり、春～夏は花のリレーが魅力。ボランティアは植え替えや手入れを継続し、16年にわたり植栽が充実してきた。

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 入賞 ✧

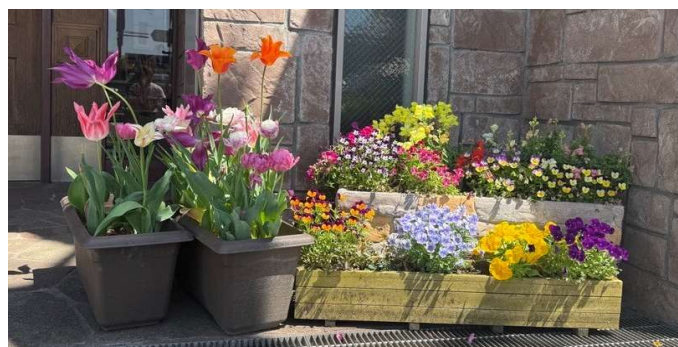
団体名	株式会社スタジオディーン園芸部
事業名	南町コミセン交差点緑化活動
活動場所	東京都武蔵野市吉祥寺南町
助成年度	2023年度～2025年度
活動継続年数	5年間
緑化面積	10㎡
活動人数	120名



井の頭通沿いの花壇
季節の装飾
(ハロウィンには
ソーラーで灯るお化けたちが！)



生き物たちも集まる



4月のプランター花壇の様子

概要	アニメ制作会社の有志ボランティア団体。 屋内作業の多いスタッフに自然と触れ合う場を、また地域の人々に花を楽しんでもらうためにエントランス花壇を整備。 色彩の組み合わせや構図にこだわり、季節のイベントに合わせた装飾など、遊び心を交えた花壇をコンセプトに植栽している。 花壇や清掃活動をきっかけに地域交流も活発化し、移転20年の中で花壇は地域と会社をつなぐ存在として定着している。
----	--

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	花笑みクラブ
事業名	美しい道づくり活動
活動場所	東京都多摩市落合
助成年度	2024年度～2025年度
活動継続年数	1年間
緑化面積	100㎡
活動人数	10名



沿道花壇の様子（11月）



活動の様子（5月）



猛暑の中、涼し気な水鉢（7月）

概要	地域の除草活動をきっかけに多摩市のアダプト制度団体となり、市道の美化と安全確保に取り組んでいる。枯れた植栽やヤブガラシの繁茂する環境を改善するため花壇を整備し、強健種や山野草を植栽。利用者にも認知され、飛び出しやポイ捨てが減少。別区間では大規模な花壇整備を行い、150種以上の花が咲く道として地域の遊び場・散策路として賑わっている。
----	--

東京都都市緑化基金賞 【花壇・庭づくり部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	江東区コミュニティーガーデン
事業名	豊洲シーサイドガーデン
活動場所	東京都江東区豊洲
助成年度	2019年度～2021年度
活動継続年数	8年間
緑化面積	35㎡
活動人数	480名



活動の様子



オープンガーデンにて花の勉強会

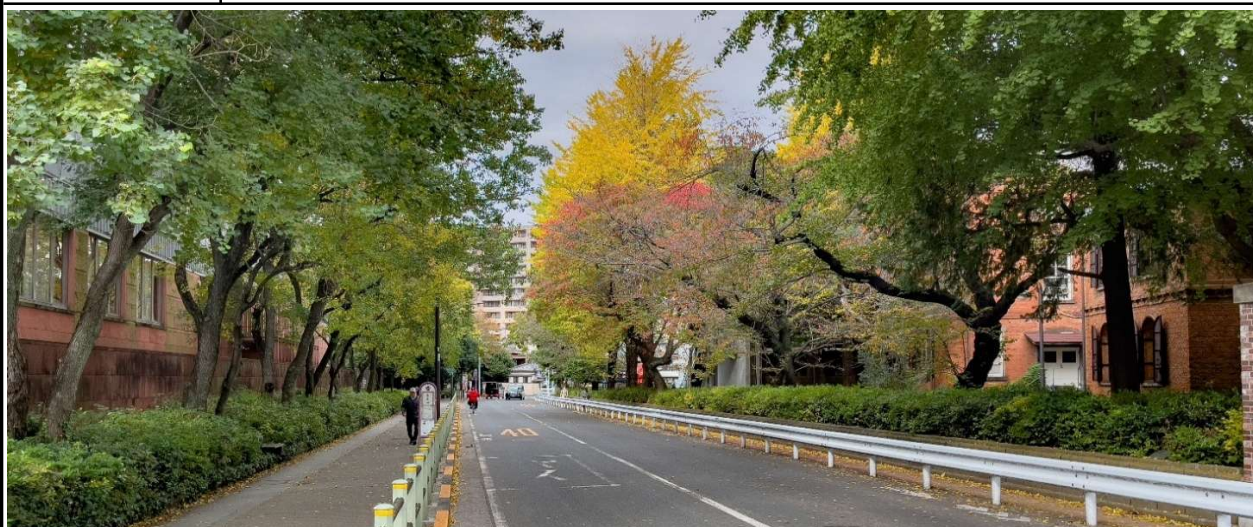


作業終了後の歓談の時間

概要	豊洲公園内に区が整備したコミュニティーガーデンで、月1回の定例活動を中心に花がら摘みや除草、水やり、植え替え作業を行っている。天候を見ながら適切に水やり計画を立て、四季を感じる花を植栽し、公園利用者の憩いの場を演出。会員確保を課題としつつ、活動後のお茶会などで交流を深め、楽しく継続できる体制を整えている。
----	--



団体名	国立大学法人 東京藝術大学
事業名	藝大の森プロジェクト「藝大ヘッジ」
活動場所	東京都台東区上野公園
受講年度	2020年度
活動継続年数	10年間
緑化面積	1,100㎡
活動人数	240名



大学を貫通する都道兩岸に整備された「藝大ヘッジ」



キャンパスと藝大ヘッジの位置図



植栽作業の様子



以前の様子と、植栽後の様子



定期的な管理を行う「お世話隊」

概要

東京藝術大学は上野公園北部の人通りの多い立地にあるが、接道部には高い柵が設置されており、地域との隔たりになっていた。

経年劣化による取り換えを機に、灌木の植栽帯へリニューアルすることで、景観は一変し、和みのある空間を創出した。毎年、学生や地域住民の方々とワークショップ形式で植えており、維持管理も在学生や地域ボランティアと共に定期的に行っている。大学と地域の交流を深めながら、四季折々で楽しめる植栽帯は道行く方々の癒しとなっている。

東京都都市緑化基金賞 【まちなか緑化士部門】

✧ 優秀賞 ✧

団体名	株式会社五兵衛
事業名	ちっちゃい辻堂
活動場所	神奈川県藤沢市辻堂元町
受講年度	2017年度
活動継続年数	8年間
緑化面積	2,000㎡
活動人数	30名



敷地内の様子（2023年竣工の4棟）



井戸



薪割の様子

（雨水タンクや生ごみコンポストなども設置）



住人送別会ガーデンパーティー



微生物舗装ワークショップの様子

概要

地主13代目が手がける「ちっちゃい辻堂」は、100年先を見据えた“土とつながる暮らし”を目指す小さな村のような賃貸住宅。畑や果樹、井戸、コンポストなどの農的要素を配置し、住民がゆるやかに助け合う共同体を育む仕組みをつくることで、生物多様性と健康、防災力の向上を図っている。

東京都都市緑化基金賞 【まちなか緑化士部門】

✧ 優秀賞 ✧

団体名	みどりネットKoto
事業名	江東区コミュニティガーデン活動支援
活動場所	東京都江東区千石
受講年度	2012年度
活動継続年数	20年間
緑化面積	30㎡
活動人数	1,500名



植え付けの実習風景（みんなで楽しむコミュニティガーデン入門編）



江東区コミュニティガーデンマップ2023
（一部抜粋）



Instagramにて各団体の活動などを配信

概要

『みどりのまちをみんなでつくろう みんなでつながろう 楽しもう』というキャッチフレーズのもと、江東区内でコミュニティガーデンのサポートを中心に活動。立ち上げ支援や講座、交流会、アドバイザー派遣などを実施している。花と緑を育てることで景観向上や地域交流、健康増進につながり、100年続く仕組みづくりを目指している。

東京都都市緑化基金賞 【まちなか緑化士部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	株式会社増木工務店
事業名	実りある暮らしの街～新農住コミュニティ野火止台～
活動場所	埼玉県新座市野火止
受講年度	2016年度
活動継続年数	9年間
緑化面積	1,175㎡
活動人数	30名



街の風景



平面図（街のイメージ図）



街の中での様子

概要

埼玉県新座市の800坪の畑を活かした分譲開発プロジェクト。
畑の一部を住民の共用畑として残し、15棟の住宅と80種の樹木を配置。
元地主が農業アドバイザーとして関わり、住民と地主双方のニーズを満たす。
住宅は高断熱・再エネを備えた自給自足を目指し、緑地40%以上で
輻射熱を抑え、省エネで快適な街づくりを実現している。

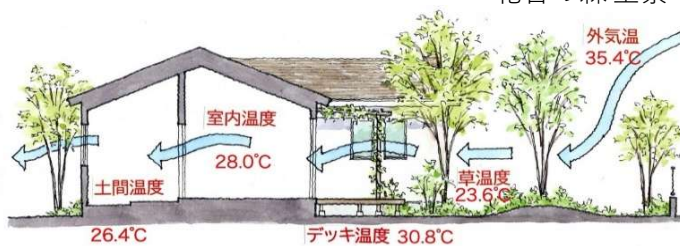
東京都都市緑化基金賞 【まちなか緑化士部門】

✧ 入賞 ✧

団体名	花音の森
事業名	花音の森
活動場所	埼玉県熊谷市拾六間
受講年度	2018年度
活動継続年数	10年間
緑化面積	600㎡
活動人数	20名



花音の森 全景



イメージ図（施設の気温）



平面図

概要

熊谷市の「花音の森」は建物と植栽を一体設計し、木陰と風の通りを生かした“エアコンに頼らない暮らし”を実践する拠点。
夏も冬も快適で、年間約1,000kWh超の省エネとCO₂削減の効果がある。
植物の力を体感できる場として来訪者や自治体・企業との連携が広がり、持続可能な暮らしを発信している。

東京都都市緑化基金賞 【まちなか緑化士部門】

✧ 入賞 ✧

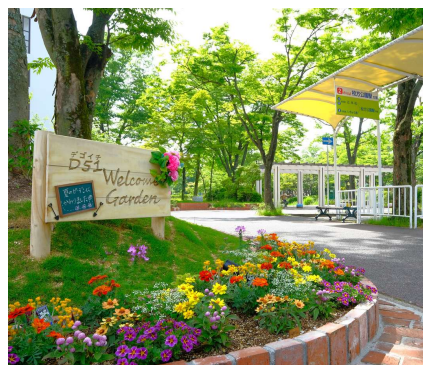
団体名	UR都市機構
事業名	香里団地D51棟 デゴイチプロジェクト
活動場所	大阪府枚方市香里ヶ丘
受講年度	2016年度
活動継続年数	9年間
緑化面積	150㎡
活動人数	30名



アプローチガーデンでの活動の様子



住人さんによる木の壁アート



敷地内の様子

概要

全国で進む団地の衰退に対し、大阪・香里団地D51棟では大家が環境を再編集し、人が集まり関係性が育つ場づくりを8年間実践。コミュニティガーデンなどの共用空間を整え、入居者の自己組織化と暮らしの活性化を促してきた。その結果、ガーデンが団地再生の核となることが分かり、他団地にも取り組みが広がっている。



公益財団法人東京都公園協会
公園事業部 公益事業推進課 緑の基金担当係
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-5
緑と水の市民カレッジ 2 階
TEL. 03-5510-7183
E-mail. midorinokikin@tokyo-park.or.jp